



鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

パウロの言葉

「わたしになほ倣う者になりなさい」
 聖書(第1コリント書4章16節)

牧師 河合裕志

よくもこんなことが言えたもの、わたしに倣え、だなんて。私のまねをし、その通りにせよ、と。パウロってそんなに立派な人なの？ それは立派な人でしょう。しかし完全無欠とは言えないのでは？ 所詮は人間、いろいろ欠点があったのでは？

もし倣え、と言うなら、イエス・キリストに倣え、これならわかる。イエスはどこから見ても正しい者だったのだから。実はパウロ、こう述べている。「わたしがキリストに倣う者であるように、あなたがたもこのわたしに倣う者となりなさい」(第1コリント11章1節)。

パウロは先ずキリストに倣う者だった。キリストのどこに倣った？ それはたとえば「キリストの愛の広さ」(エフェソ書3章18節)に倣った。キリストのように人を差別しない、その広い愛に倣いたいと願われた。また「へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順」であったキリストに倣いたいと思った(フィリピ書2章8節)。キリストの謙遜と神への従順さ、これを自分も身につけたいと。

パウロは模倣すべきモデル・キリストを前方に持っていた。そして目下模倣中の日々。そうしたパウロが今、コリントの人々に「わたしに倣う者になりなさい」と言う。それはすでに完全の域に到達した我に倣え、と言うのではないだろう。むしろキリスト

に倣おうとしているわたしに倣ってほしい、ということと受け止めてよいのでは？ つまりキリストの愛、謙遜、従順の姿に倣うわたしに倣う。これはとどのつまりはあなた方もキリストに倣う者になりなさい、ということに。

人はいきなりキリストに倣っていい。福音書を開けばそこに彼の姿が鮮やかに記録されている。古来多くの人々がキリストの生き方に少しでも近づこうとした。アッシジのフランチェスコとか賀川豊彦とか。今日でもキリストはモデルであり続ける。またパウロをモデルとすることも可能。パウロは聖人には違いないけれど一方で非常に人間臭いので親近感が持てそう。

キリスト、パウロ、その他モデルがあることは幸い。キリスト教に限らず様々な分野に勝れた人はいるのでこれに真似るところがあつていい。そして今度は私達自身が人から真似られる者となれば幸いなこと何かそんな長所が一つでもあればよいだけだ。それは無理？ いや一つくらいはあるんじゃない？ 周りの人はそれを注目している。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時